

広島県本人活動代表委員会「はつらつ友の会」の支援について

平成17年(2005)年に全日本手をつなぐ育成会全国大会が広島市で開催され、その翌年に、「またみんなで一緒に活動がしたいね。」と広島県下の本人さんたちの会(13グループ)が集い、はつらつ友の会(広島県本人活動代表委員会)が誕生しました。約1年をかけて、活動目的、活動内容、会則づくり等の話し合いを行い、広島県手をつなぐ育成会のバックアップのもと、平成19年(2007)年4月から正式に活動がスタートしました。早いもので、今年(平成26年)で7年目に入ります。

活動のなかには、各グループの情報交換により、自分たちのグループの活性化や本人活動をまだ知らない地域や仲間のために、本人活動を広めていくことも含まれています。はつらつ友の会の大きな活動でもある「はつらつ大会」や「はつらつ交流会」、「本人による本人のための相談会」も最初の頃は幾度か失敗もありましたが、今では企画も運営も自分たちの力ですすめることができるようになっていきます。失敗は、失敗の経験をしないことが失敗であり、失敗は必ず成功に導いてくれるものです。経験の積み重ねの大切さを実感するところです。

6年経過した今、はつらつ友の会としての全体活動は順調に推移してきていますが、ここに来てそれぞれの市町での自分たちのグループの活動を振り返ってみますと、活発化しているグループとそうでないグループにはっきりわかれてきています。そうでないグループの低迷している原因はといいますと、支援者があまり出てこない、支援者がよく変わる、中には支援者不在のグループもあるようです。また、支援のあり方が自分たちの望まない支援であったりして支援者に関係することが数多くあげられています。

本人活動を行う上で支援者は不可欠です。その支援者は支援者としての役割をしっかりと認識して関わることで本人活動はすすんでいきます。

平成26年(2014)年4月から県育成会に「本人活動支援委員会」が設置されました。はつらつ友の会を始めとした本人活動の支援と支援者の育成を主目的にした委員会です。この委員会が起爆となり、各市町のグループの本人活動が再生され、新たな地域に新たなグループの誕生が…と期待しているところです。本人活動の支援をよろしくお願いいたします。

支援者 安森 博幸